

【非線形動解析システム】

～有限要素法による製品の動解析を実施できます～

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて、中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理をお手伝いさせて頂いております。これら試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：平成24年11月22日（木） ①10：50～ ②14：20～
各コース（①～②）の講習時間は約1時間です。

◆場 所：（地独）大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時刻前に、当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前まで、ご参集ください。担当者が講習会場にご案内いたします。

◆定 員：各コース（①～②）とも、3名まで。

※ 受講票は発行いたしません。定員を超えたときは、お断りする方のみ、ご連絡いたします。

※ 受講にはTRIカードが必要となります。まだお持ちでない方は当日お申し込み頂くことができますので、担当者までお申し出ください（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：（地独）大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) をお願い致します。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせ致します。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：非線形動解析システム

本システムを用いることにより、コンピュータ上に仮想的に製品モデルを作り、有限要素法による製品の動解析を繰返し実施することができます。荷重時の製品の変形状態、最大応力や最大応力発生位置の把握に加えて、時間経過とともに荷重が変化するような振動問題や衝撃問題も取り扱うことができます。そのため設計段階での完成度が高まり、「設計→試作→試験」の回数が減るため、製品開発の期間短縮やコスト削減に役立てることができます。

本システムでは、解析用コンピュータにソルバー*用 LS-DYNA（LSTC 社製）とプリポスト*用 JVISION（株式会社 JSOL 製）がインストールされています。LS-DYNA は、構造解析だけでなく、衝撃解析、固有値解析などが、豊富な要素ライブラリーや材料物性ライブラリーが用意されているため、汎用性が高い解析が可能です。そのため、世界中の多くの企業や研究機関において、製品の設計開発や物理現象のシミュレーションに利用されています。

本講習会では、本システムの概要を説明した後、緩衝材を対象にした衝撃解析を例題に用いてソフトの操作方法を体験していただきます。なお、本講習会の前に開催される講習会「緩衝材用衝撃試験機」では、シミュレーションで用いる緩衝材の物性を取得する実習を行います。ご興味のある方はあわせて受講くださいますようお願いいたします。

*ソルバーは有限要素法により解を導き出すソフト。プリポストは解析データの入力、メッシュ作成、解析条件（荷重条件、境界条件、拘束条件）の入力、解析結果の出力などを行うソフトです。



◆講習担当：製品信頼性科 研究員 津田 和城

